

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

2016年の出来事

2016年1月	各地で「新春のつどい」開催。 いのちの章典実践交流会開催。 かりゆし会（糖尿病患者会）新年の集い開催。
2月	那覇美らさくらまつり参加。
3月	第2回こども健康まつり開催。 JCEP（卒後臨床研修評価機構）訪問審査。 統合版電子カルテ Ver2 稼働。
4月	新年度 研修医10名その他職種含む合計54名入職。
5月	病院機能評価更新訪問審査。 熊本震災支援参加。 JCEP（卒後臨床研修評価機構）更新取得。
6月	国民平和大行進参加。
7月	かりゆし会（糖尿病患者会）総会開催。 物療室がとよみ生協病院へ移転。
8月	原水爆禁止世界大会 in 長崎参加。 デジタルマンモグラフィ装置導入。
9月	沖縄協同病院地域連携懇話会開催。 小児短期滞在アレルギー検査室を開設。 日本平和大会参加。
10月	沖縄協同病院開院40周年を迎える。 県連学術運動交流会開催。 病院機能評価3rdG: Ver1.1を取得。
11月	医療生協グランドゴルフ大会開催。

開院40周年のあいさつ

当法人はこれまで沖縄協同病院を中心に救急等の急性期医療を行い、中部協同病院やとよみ生協病院として各診療所群、老健施設が力を合わせて総合的な医療福祉の取り組みを行ってまいりました。「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」を理念に掲げ、地域の皆様方から温かい御支援を頂きながら今日を迎える事ができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。さて沖縄県は本土に比べ平均所得が低く、子ども貧困率も二九.九%と



沖縄医療生活協同組合理事長 上原 昌義

全国一高率となっており、経済的理由で病状が悪化した事例など経済格差に起因する健康格差を日常的に医療現場で感じることは少なくありません。当法人では経済的に困窮しておられる方々を対象に病棟の窓口負担金を減免できる無料低額診療事業を二〇一〇年から行っており、今後とも地域と共同した様々な取り組みを通じて、無差別平等の医療として福祉を実現し、安心して住み続けられる街づくりが実現できるよう努力して参ります。お願い申し上げます。

この度、沖縄協同病院が皆様を支えられ四十周年を迎えることとなり、近隣の医療機関の皆様、病院利用者の皆様、また八万九千人の沖縄医療生活協同組合の組合員の皆様、心より感謝申し上げます。当院は二〇〇九年六月に豊見城市真玉橋から那覇市古波蔵へ分離移転し、医療に特化するために三百六十五床から二百八十床を新築移転しました。救急車を断らない医療を目指し二〇一五年度は四百五十台の救急搬送を受けました。手術件数は二千四百件となり、さらに年



沖縄協同病院 院長 仲程 正哲

間外来患者十八万人、入院患者十一万人の診療にあたり、当院は厚生労働省が指定する医師臨床研修病院として研修医教育にも力を入れております。二〇一四年からの新医師臨床研修制度の中で群星沖縄臨床研修プログラムに参画しており、これまで八十八名の医師が研修を修了し県内外外へ活躍していただいております。当院の特徴は沖縄医療生活協同組合が運営主体であることです。組合員が中心となり、利用者の方々の求に応える医療を行っており、いつでもどこでも誰にでも良い医療を提供するよう努力をかさねてまいりました。これからも当院の特徴を活かし、他の医療機関との地域連携をより深め、県民の命と健康を守るため職員一同奮闘する所存です。今後とも御指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

病院の活動状況 <10月度>

- ・外来一日平均患者数:460(前年同月比 -120人)
- ・入院一日平均患者数:304(前年同月比 +29人)
- ・組合員利用率:56.3%(前年同月比 -2.2%)

「入院支援窓口」スタートしました

124 入院支援窓口



現在、看護師二名体制で業務を行っており、一階外来の内科・心臓外科・脳神経外科・整形外科・リハビリ科から入院される患者さんが対象です。今後は二階外来の一般外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科の患者さんへも対応していく予定です。

まだまだスタートしたばかりで課題はありますが、これからも多職種で連携し、少しでも患者さんご家族の支えになれるよう笑顔やモットーに頑張っていきたいと考えています。何かありましたら入院支援窓口までお気軽に声をかけて下さい。入院支援窓口では、これまで通り、沖縄医療生協の組合員加入・増資も受け付けています。こちらもよろしく願います。

入院支援窓口 担当看護師 町田千加子 當山美和



當山 美和



町田 千加子

聞けない雰囲気や不安を抱えたまま入院することがあります。多職種との連携もとりながらサポートし、少しでも患者さんやご家族の不安軽減を図り、入院して頂くことを目的とし入院支援窓口が設置されました。

心がけていることは、リラックスできる環境で入院説明を受けて頂き、疑問や不安などの解消に努めること、また待ち時間の短縮を図り、スムーズに入院ができるように調整しています。

内容は、その名の通り入院される方への入院説明から基本情報(日常生活や連絡先など)の確認が主になります。

これまででは、看護師が多忙な外来業務の中で入院説明を行うことが多く、患者さんが聞きたいことがありません。

二〇一六年八月一日より入院支援業務をスタートさせ、現在は「入院支援窓口」として一階売店となりの医療生協コーナーで業務を行っています。

九州セミナー

こんにちは。地域連携課・相談員の玉那覇といいます。
先日行われました、「人間らしく働くための九州セミナー in 沖縄」の、2日目に行なわれました分科会にて報告をさせていただきました。今回のコンセプトは『子どもの貧困から見える 親の働かせ方・働き方』でした。私の参加させて頂いた分科会のテーマは「子どもの貧困」についてでした。医師や、心理士、看護師も報告を行ってありました。また、他県からの報告者、参加者もおり、様々な職種や他県の方のお話を聞き、意見の交換をすることが出来、勉強になりました。このような大会に報告者として参加させて頂き、とても貴重な体験となりました。
地域連携課 玉那覇 夏汀

グランドゴルフ

11月5日(土)に全県グランドゴルフ大会が西原マリパーク多目的広場にて行われました。当日は天気にも恵まれ、絶好のグランドゴルフ日和となりました。今回のグランドゴルフ大会には、全県の支部、地域、職員など合わせて43チームが参加し、親睦を深めました。
大会は3ゲーム行われ、1ゲーム、2ゲーム目はそれぞれの合計点数で競い合う競技ラウンド、3ゲーム目は組合員さんと職員が混合でチームを作り、チームで1個のボールをローテーションして打つ交流ラウンドとして行われました。
私も大会要員として参加していましたが、交流ラウンドから急遽参加させて頂きました。
グランドゴルフを行うのは本当に久しぶりで、スティックの持ち方さえ忘れていましたが、同じチームの組合員さんからフォームや、打ち方のコツまで教えて頂きました。チームの中には90代の組合員さんやマイスティックを持参している組合員さんもあり、ホールインワンを目指してプレーを楽しんでいました。
ボールの打ち加減が弱かったりと多少失敗もありましたが、組合員さんと笑いあい冗談を言い合いながら交流を深めることができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
総務課 金城若奈



<ご意見・ご要望>

家族の入院を何度もくり返しています。そのたびに受付で30分~1時間近く待ち、検査で待ち、外来でインフルエンザをもらわないか、病気がうつらないか心配です。
今日は、入院支援窓口というところを案内されて、とてもスムーズに病棟に行けました。色々工夫してもらい、助かりました。

病院機能評価を取得しました



※病院機能評価とは

病院機能評価は、我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。
病院機能評価を通じて、病院の質改善活動を支援しています。

2016年10月7日に、病院機能評価3rdG:Ver1.1を取得致しました。



画・内科医 上原和博

母さんがんばって！

年末年始外来休診のお知らせ

12月29日(木)午後~1月3日(火)まで外来は休診となります。
1月4日(水)から通常通りの外来診療となります。
なお、救急は終日、受付けております。

栄養管理室だより ⑭ シークワース

普段の食事と生活習慣を見直して 貧血を予防しよう

女性に多いと言われる貧血。貧血とは血液中の赤血球や色素の量が、何らかの原因で減少したために起こる酸素欠乏の状態です。
貧血の原因には色々あります。女性には月経、妊娠、授乳と生理的にも貧血になりやすく、朝食抜きや無理なダイエットによる栄養不足、偏食、過労なども関係しています。

他にも、左記の食事が貧血をまねきやすいと言われています。



貧血の予防、改善には鉄分を積極的に摂ることはもちろんですが、鉄分の吸収を高める栄養や、造血を助ける働きのあるビタミンなどを一緒に摂る、バランスの良い食事をすることが大切です。

手軽な食材で貧血予防!! 特に鉄分や葉酸の多い食材を使った これからの季節にピッタリの一品を紹介します。

貝だくさん豆乳クラムチャウダー

アサリ(水煮缶) …… 100g	コンソメ …… 小3
かぼちゃ …… 200g	塩・コショウ …… 適量
人参 …… 50g	無塩バター …… 大1
ほうれん草・1束(約200g)	水 …… 約100cc
茹枝豆 …… 200g	豆乳 …… 500cc

- かぼちゃ、人参は1cm角切りにする。
 - ほうれん草は軽く下茹でし、2cm位の長さに切る。
 - 鍋を温めバターを溶かし①の野菜を炒める。
 - ③にあさり缶を汁ごと入れ、加熱する。
水、コンソメを入れ、柔らかくなるまで煮る。
 - ④に豆乳を入れ、沸騰直前まで加熱し、水気を絞った②を入れ、塩・コショウで味を調える。
- 材料(3人分) …… 1人分225Kcal
鉄分:約10.1ミリグラム 葉酸:約160マイクログラム

鉄分だけじゃない! 貧血予防に必要なその他の栄養素

☆鉄分の吸収を高める栄養素

- ・ビタミンC:鉄を吸収させやすい形に変化させる。
多く含む食品→野菜類・果物類
- ・クエン酸:胃酸の分泌を良くし、消化吸収を高める。
多く含む食品→果物類・酢のもの

☆鉄分の吸収を高める栄養素

- ・ビタミンB12:赤血球の合成を助ける。
多く含む食品→貝類・レバー・卵
- ・葉酸:造血に必要なビタミンB群の仲間。
多く含む食品→野菜類(特に葉野菜) 果物類・海藻類
- ・ビタミンB6:ヘモグロビン合成に働く。
多く含む食品→野菜類(特に緑黄色野菜) 魚介類・豆類・種実類